



鳥取県土木工事監督マニュアルの一部改正について（通知）（その3）

技術基準の種類:技術管理
通知日:平成15年 3 月25日

第4章 土工
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工、港湾土工、公園土工
1-4-3-2 : 掘削工（切土工）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
土（岩）の変化した時	1-4-3-2	・土（岩）質変化位置	・土及び岩の契約分類毎に地質境界線を確認する。	段階確認書	確認	1回/土（岩）質の変化毎	

1-4-3-3 : 盛土工（河川、道路、海岸、砂防、港湾、公園）

11

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
敷均し、転圧時	1-4-3-3	使用材料敷均し締固め状況	・土の敷ならし及び締固めについて、使用材料、敷均し厚さ・方向、施工機種について把握する。		把握	一般：1回/1工事 重点：2～3回/1工事	

第4節 道路土
1-4-4-2 : 掘削工（切土工） 1－4－3－2と同じ

1-4-4-3 : 路体盛土工（道路土工）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
敷均し、転圧時	1-4-4-3	・使用材料、敷均し締固め状況	・土の敷ならし及び締固めについて、敷均し厚・方向、施工機種について把握する。		把握	一般：1回/1工事 重点：2～3回/1工事	

1-4-4-4 : 路床盛土工

12

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
敷均し、転圧時	1-4-4-4	使用材料、敷均し締固め状況	土の敷ならし及び締固めについて、敷ならし厚・方向、施工機種について把握する。		把握	一般：1回/1工事 重点2～3回 /1工事	
ブルドーリング実施時		・ブルドーリング実施状況	・路床盛土仕上後、路床全体にわたっての、ブルドーリング実施時のたわみについて状況を確認する。	段階確認書	確認	1回/1工事	

第5章 無筋、鉄筋コンクリート ???新規

第5節 鉄筋

1-5-5-3 : 鉄筋の組立

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
鉄筋組立て完了時	1-5-5-3	・使用材料、設計図書との対比	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に1回	
			・鉄筋の本数を管理資料で確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に1本	
			・鉄筋の径、長さを部材の種類毎に現地で測定して確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に一般：1箇所 重点：2箇所	
			・鉄筋のかぶりを保ち、本体コンクリートと同等以上の品質を有するスペーサーを使用しているか側面、底面毎に確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に1回	
			・継手の位置を現地で目視して確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に1回	
			・鉄筋の固定方法がコンクリートの打込みに際し、変形・移動の恐れがないか現地で目視して確認する。	段階確認	確認	各構造物の鉄筋組立て時確認頻度毎に一般：1箇所 重点：2箇所	
			・継ぎ手の長さが設計書どおりであるか加工形状毎に現地で測定して確認する。	段階確認	確認	1径間当り3断面（両端及び中央） その他端面変化毎	
			・鉄筋の間隔が許容誤差範囲であるか加工形状毎に2mの範囲を現地で測定して確認する。	段階確認	確認	品質管理点数のうち一般：30％ 重点：60％	
			・床版工において、鉄筋の有効高さが許容誤差範囲であるか現地で測定して確認する。	段階確認	確認		
			・ガス圧接において、超音波探傷検査により規格値以内か現地で試験して確認する。	段階確認	確認		

第2編 河川編

第1章 築堤・護岸

法 線

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
法線設置完了時		法線設置状況	・法線の位置・方向について設計図書と対比し現地で確認する。	段階確認書	確認	1回/1法線	

第3節 護岸基礎工

2-1-3-3 : 法留基礎工 1－3－4－3に同じ。

第4節 矢板護岸工

2-1-4-4 : 矢板工 1－3－3－4に同じ

第5節 法覆護岸工

2-1-5-1 : 一般事項

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
覆土前	2-1-5-1	設計図書との対比不可視部分の出来形	・不可視部分について、覆土前に設計図書と現地で対比し規格値以内か確認する。 必須測定項目：基準高、法長、延長 任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所	段階確認書	確認	1回/1工事	

第6節 擁壁護岸工

2-1-6-3 : コンクリート擁壁工 (重要構造物)

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
15 土（岩）質の変化した時 床掘掘削完了時 鉄筋組立て完了時 コンクリート打設時 躯体完了時	2-1-6-3	・土（岩）質 変化位置	・土及び岩の契約分類毎に地質境界線を確認する。	段階確認書	確認	1回/土（岩）質の変化毎	
		・支持地盤（直接基礎）	・監督員は床掘完了時に、掘削深さ（基準高）を測量し、支持地盤の適否を柱状図等の設計図書と照合して確認する。また、必要に応じて平板載荷試験（試験費用は別途計上）の試験結果で確認する。	段階確認書	確認	1回/1構造物	
		・使用材料、設計図書との対比	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。 ・鉄筋の径、長さ、本数、間隔、継手方法（継手長結束状況）及びかぶりについて現地で確認する。	段階確認書	確認	1回/1ロット 1-5-5-3 参照のこと	
		・品質規格、運搬時間打設順序、天候、気温	・品質規格、運搬時間、打設順序、天候及び気温等について把握する。		把握	一般：1回/1構造物 重要：1回/1ロット	
		設計図書との対比	・管理資料を設計図書と対比し規格値以内か確認する。 必須測定項目：座標位置、基準高、フチの厚さ・幅、天端幅、高さ、延長 任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所	段階確認書	確認	1回/1構造物	

第7節 根固め工

2-1-7-3 : 根固めブロック工 1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、厚さ、幅、延長】

第3章 樋門・樋管

第3節 樋門・樋管本体工

2-3-3-6 : 函渠工 2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、延長、内空幅、内空高
任意測定項目：厚さ（ $t_1 \sim t_8$ ）幅（ w_1 、 w_2 ）その他図面の寸法表示箇所】

2-3-3-7 : 翼壁工 2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、厚さ、幅、高さ、延長
任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所】

第5節 水路工

2-3-5-6 : 暗渠工 1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、延長
任意測定項目：幅（ w_1 、 w_2 ）深さ】

第4章 水門

第3節 水門工

2-4-3-3 : 水門 2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、高さ、延長、
任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所】

第4節 水門の塗装

2-4-4-3 : 水門塗装

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
清掃・錆落とし施工時	2-4-4-3	・清掃・錆落とし状況	・清掃、錆落とし状況を把握する。		把握	1回/1工事	
施工時		・使用材料、天候、気温	・塗料缶の数量及び製造年月日（有効期限）天候と気温が施工に適しているか把握する。		把握	1回/1工事	

第5章 堰

第4節 可動堰本体工

2-5-4-8 : 床版工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
鉄筋組み立て完了時	2-5-4-8	・使用材料、設計図書との対比	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているかを確認する。	段階確認書	確認	一般：30%/1構造物 重点：60%/1構造物	
コンクリート打設時		・品質規格、運搬時間打設順序、天候気温	・品質規格、運搬時間、打設順序、天候及び気温等について把握する。		把握	一般：1回/1構造物 重点：1回/10㎡	

17

2-5-4-9 : 堰柱工

2-5-4-10 : 門柱工

2-5-4-11 : ゲート操作台工

2-5-4-12 : 水叩工

2-5-4-13 : 閘門工

2-5-4-14 : 土砂吐工

第5節 固定堰本体工

2-5-5-8 : 堰本体工

2-5-5-9 : 水叩工

2-5-5-10 : 土砂吐工

2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、高さ、延長
任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所】

第6節 魚道工

2-5-6-3 : 魚道本体工

2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、高さ（ t_1 、 t_2 ）幅、高さ（ h_1 、 h_2 ）延長
任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所】

第7章 床止め・床固め

第3節 床止め工

2-7-3-6 : 本体工（床固め本体工）

2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高（天端・水通し・堤底）天端幅、堤幅、堤長、水通し幅
任意測定項目：その他基準高、図面の寸法表示箇所】

第3編 海岸編

第1章 堤防・護岸

第3節 護岸基礎工

3-1-3-3 : 捨石工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長 任意測定項目：法長】

3-1-3-4 : 場所打ちコンクリート工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、幅、高さ、延長】

3-1-3-5 : 海岸コンクリートブロック工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、ブロック厚、ブロック縦・横幅、延長】

3-1-3-7 : 法留基礎工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、幅、高さ、延長】

第4節 護岸工

3-1-4-3 : 捨石張工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、延長 任意測定項目：法長】

3-1-4-4 : 石張り、石積み工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、延長 任意測定項目：法長、厚さ（ブロック・裏込）】

3-1-4-5 : 海岸コンクリートブロック工

1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、延長 任意測定項目：法長、厚さ】

3-1-4-7 : 現場打擁壁工

2-1-6-3に同じ

18

19

第6節 波返工		
3-1-6-3	波返工	2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、幅（ w_1 、 w_2 ）高さ（ h_1 、 h_2 、 h_3 ）延長】
第7節 裏法被覆工		
3-1-7-2	石張り、石積み工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、法長、延長 任意測定項目：厚さ（ブロック、裏込）】
3-1-7-3	コンクリートブロック工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、法長、延長 任意測定項目：厚さ（ブロック、裏込）】
第2章 突堤・人工岬		
第5節 根固め工		
3-2-5-3	捨石工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長 任意測定項目：法長】
3-2-5-4	根固めブロック工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、厚さ、幅 任意測定項目：延長】
第6節 消波工		
3-2-6-2	捨石工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長 任意測定項目：法長】
3-2-6-3	消波ブロック工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、厚さ、幅 任意測定項目：延長】
第3章 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）		
第3節 海域堤基礎工		
3-3-3-3	捨石工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長 任意測定項目：法長】
第4節 海域堤本体工		
3-3-4-2	捨石工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長 任意測定項目：法長】
3-3-4-3	海岸コンクリートブロック工	1-3-4-3に同じ【必須測定項目：基準高、天端幅、天端延長】
第4編 砂防編		
第1章 砂防ダム		
法 線		

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
法線設置完了時		法線設置状況	・法線及びダム軸の位置・方向について設計図書と対比し 現地で確認する。	段階確認書	確認	1回/1法線	

20	第3節 工場製作工		
	4-1-3-5	工場塗装工	2-4-4-3に同じ
	第4節 コンクリートダム		
	4-1-4-3	コンクリートダム本体工	2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高（天端・水通し・堤底）天端幅、堤幅、水通し幅、堤長 任意測定項目：その他基準高、図面の寸法表示箇所】
	4-1-4-4	コンクリート副ダム工	4-1-4-3に同じ
	4-1-4-5	コンクリート側壁工	2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、幅（ w_1 、 w_2 ）長さ 任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所】
	4-1-4-7	水叩工	2-1-6-3に同じ【必須測定項目：基準高、幅 任意測定項目：厚さ、延長】
	第5節 鋼製ダム工		
	4-1-5-4	鋼製ダム本体工（コンクリートに関する部分）	4-1-4-3に同じ
	4-1-5-5	鋼製側壁工（コンクリートに関する部分）	4-1-4-5に同じ
	4-1-5-6	コンクリート側壁工	4-1-4-5に同じ
	4-1-5-8	水叩工	4-1-4-7に同じ
	4-1-5-9	現場塗装工	2-4-4-3に同じ